

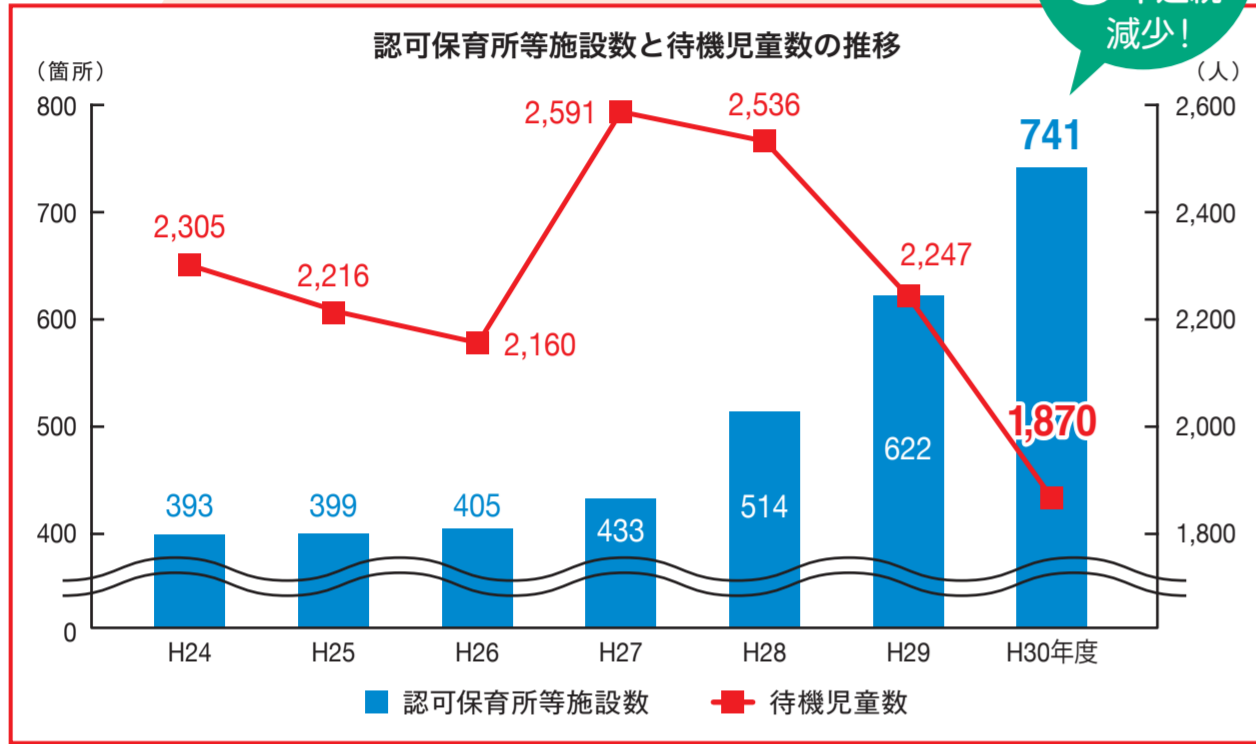
沖縄21世紀ビジョン基本計画

～平和で豊かな「美ら島」おきなわの実現に向けて～

やさしい社会の構築

待機児童の解消に努めています。

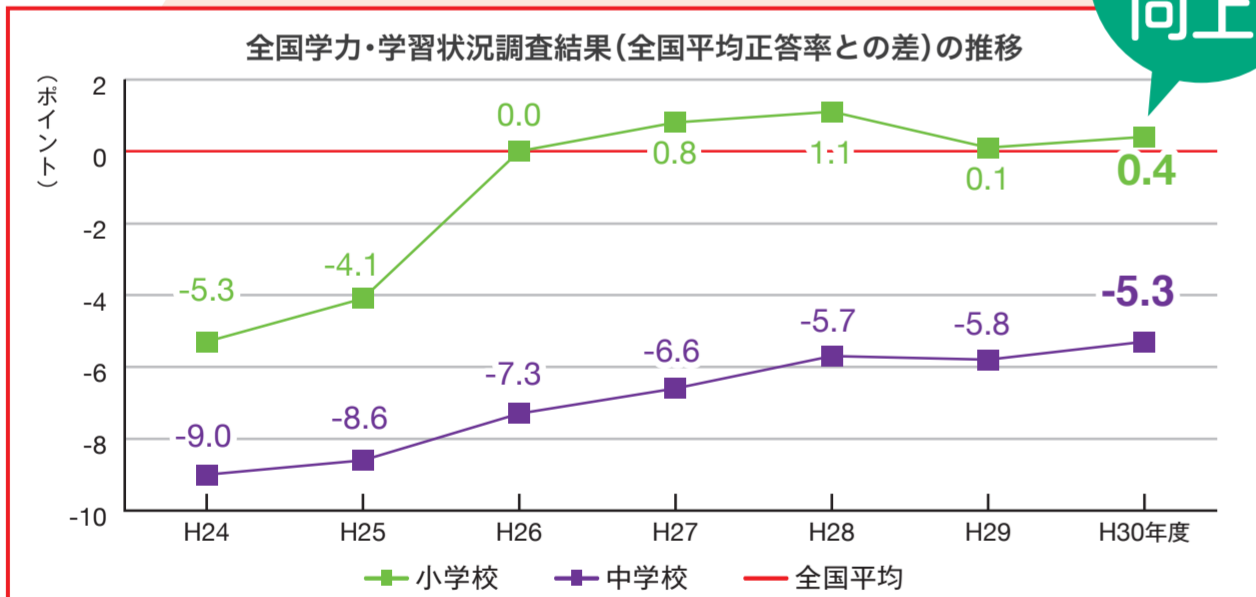
認可保育所や認定こども園等の整備及び認可外保育施設の認可化移行の支援により、認可保育所等施設数は平成24年度から約1.9倍に増加し、待機児童問題の改善に大きく寄与しています。



※4月1日時点

児童生徒の学力は向上しています。

本県の小学生の学力は飛躍的に向上し、全国水準を維持しています。中学生の学力は、全国平均との差が縮小し、着実に力をつけてきています。

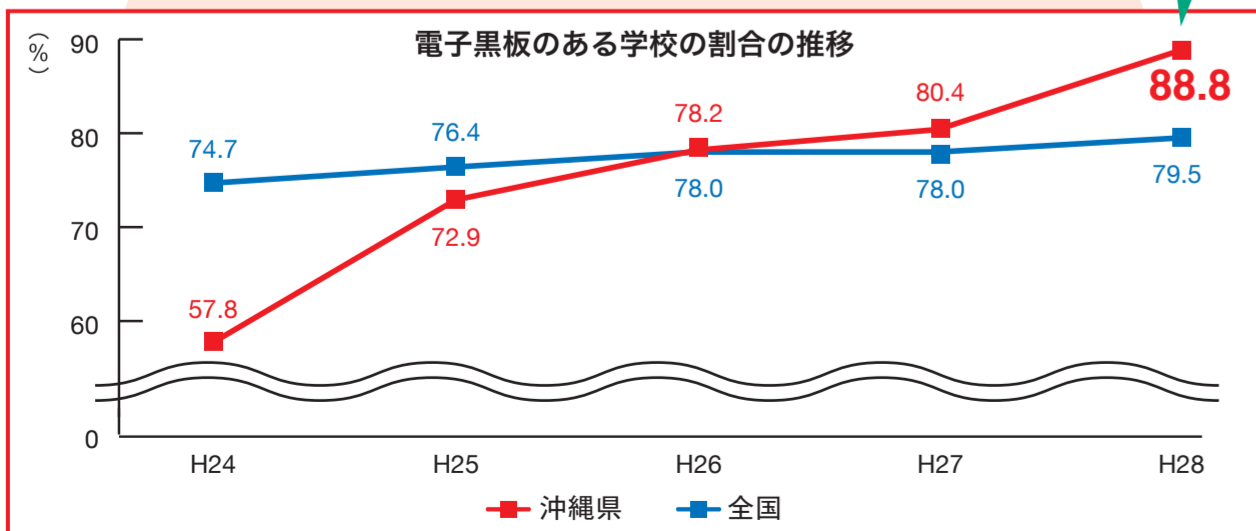


※全国の平均正答率を0として、沖縄県の平均正答率と比較

情報社会に対応した教育環境を整備しています。

高度情報通信社会において、時代の進展に対応するため、電子黒板などICT機器の活用により、児童生徒の情報活用能力の育成、わかる授業の実現を図っています。

電子黒板整備中!



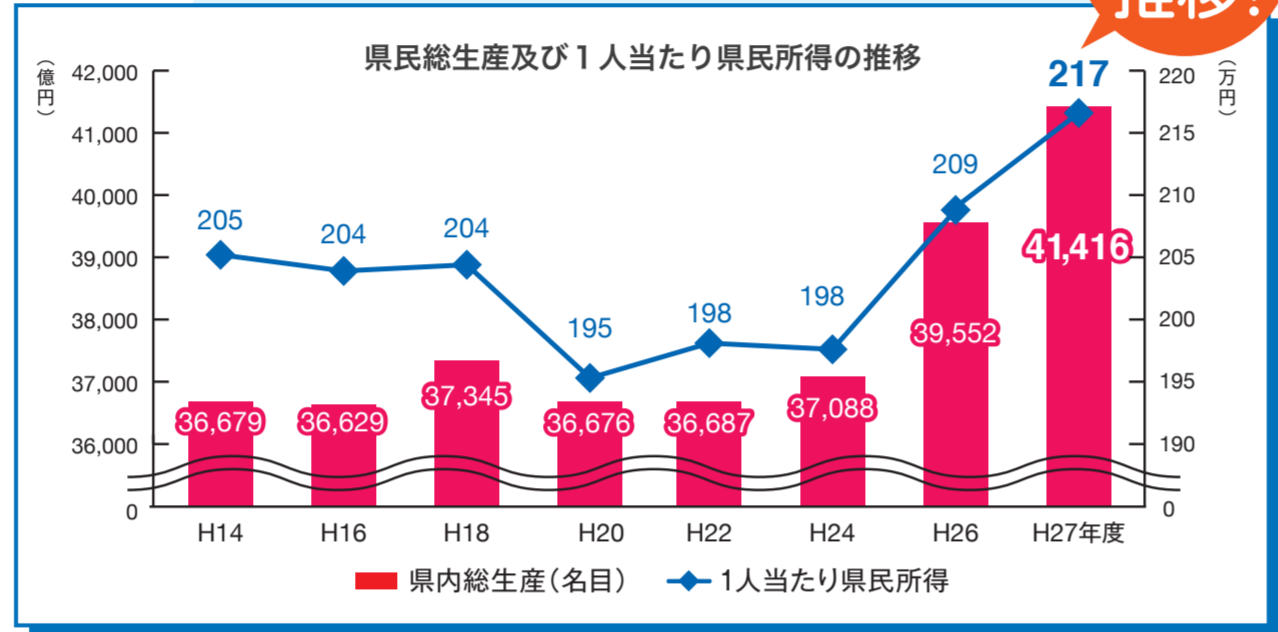
着実な成果

自立型経済の構築

経済は着実に成長しています。

県内総生産と1人当たり県民所得が増加しています。アジアのダイナミズムと連動した沖縄とアジア地域の経済交流、産業振興に向けた指針となる「沖縄県アジア経済戦略構想」等を推進し、着実に経済成長しています。

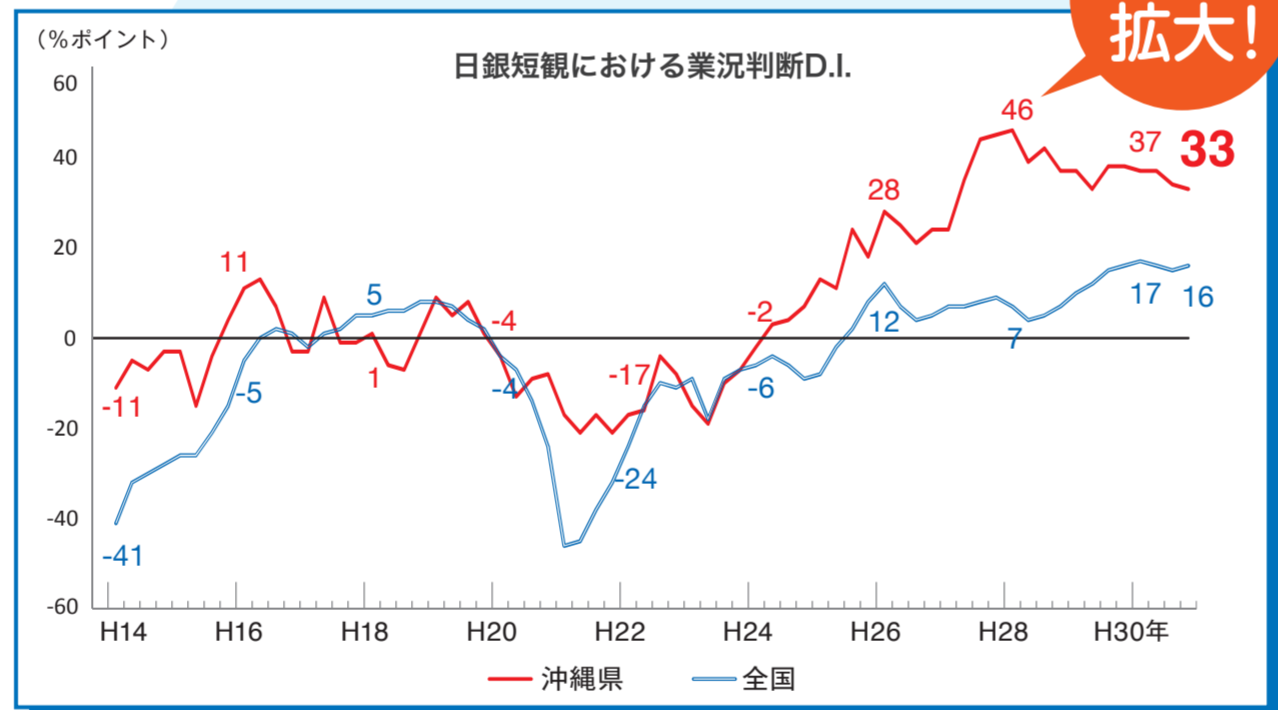
順調に推移!



景気は好調に推移しています。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」によると、業況感が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた業況D.I.は上昇傾向で推移しています。

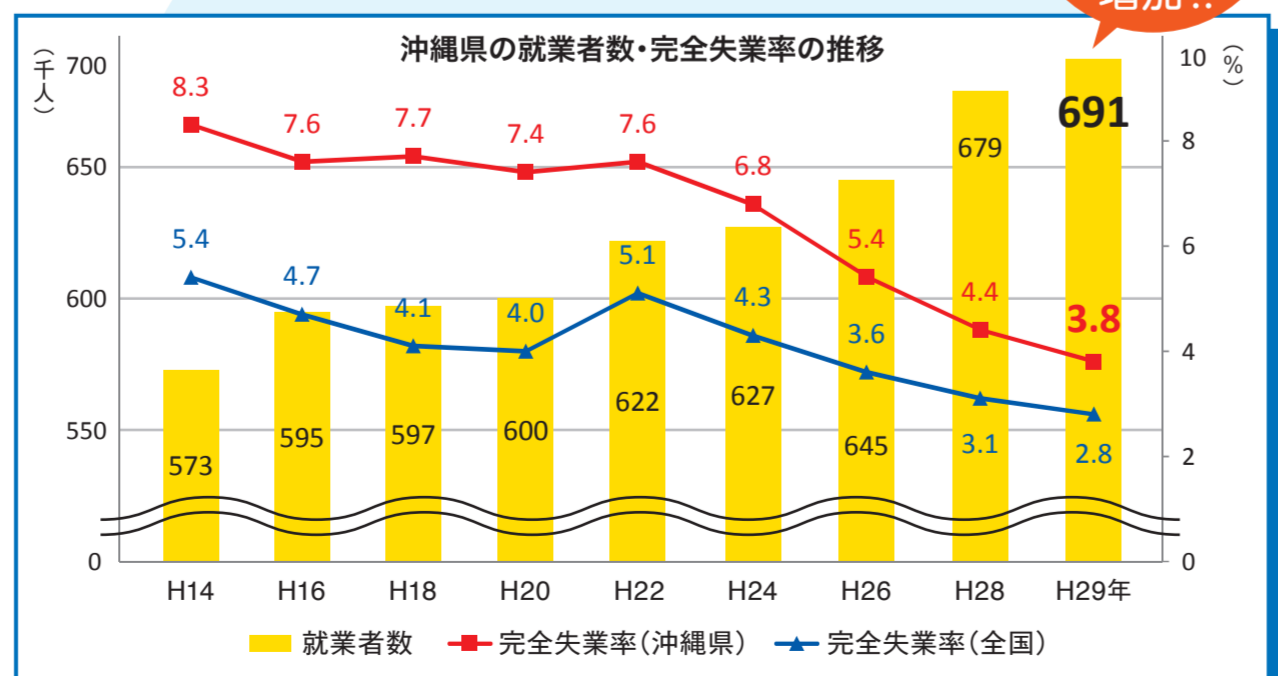
景気拡大!



雇用情勢は着実に改善しています。

就業者数は経済規模の拡大とともに増加基調で推移しており、平成29年の完全失業率は27年ぶりに3%台に改善しています。

平成14年から就業者数10万人以上増加!!



沖縄の5つの将来像

5つの将来像とは、県民から寄せられた2,700件以上にのぼる様々な意見を集約し、沖縄のあるべき姿、ありたい姿として描いた県民全体で共有する沖縄の将来像です。

1 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島

自然環境の保全

サンゴの白化対策等の調査研究やサンゴ種苗の低コストな植付け技術の開発を行うとともに、サンゴ礁の保全・再生活動を継続して行うための地域づくりを推進するなど、豊かな自然環境の保全・再生に取り組んでいます。



海域に植付けられたサンゴ(恩納村)

文化の発信・交流



第1回沖縄空手国際大会

沖縄文化の発信に努め、その根底をなすチムグルを育みます。また、沖縄空手を保存・継承・発展させるため、沖縄空手会館を拠点に世界の空手愛好家の受入体制強化に取り組めます。

2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島

子どもの貧困対策

ひとり親家庭が地域の中で自立した生活が送れるよう、沖縄独自の取り組みとして、生活・就労支援、子どもへの学習支援等、各家庭に応じた総合的な支援を行っています。



子どもの学習支援の様子



新県立八重山病院外観

医療環境の充実

八重山圏域の中核病院である県立八重山病院が旧石垣空港跡地に新築移転され、平成30年10月に開院しました。高度な医療機器や設備の導入等により、八重山圏域内で完結できる医療の提供に努めます。

3 希望と活力にあふれる豊かな島

航空関連産業クラスターの形成

国内初の航空機整備(MRO)事業を中心とした航空関連産業クラスター(集積地)の形成を目指し、那覇空港内に航空機整備施設を整備しました。今後は、新たな臨空型産業の集積及び雇用の創出が期待されます。



航空機整備施設内での機体整備の様子

鉄軌道の導入促進

県土の均衡ある発展、交通渋滞緩和、移動利便性の向上等を図ることを目的に、平成30年5月、鉄軌道の構想段階における計画書を策定しました。今後は、早期に次の計画段階に移行できるよう取り組みます。



計画書で示された「概略計画図」

沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」の推進

沖縄が世界中のお客様に提供できる価値を表現した「Be.Okinawa」を国内外に発信し、世界における沖縄の認知度向上や、沖縄観光の高付加価値化に取り組み、世界から選ばれるリゾート地を目指しています。



沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」

4 世界に開かれた交流と共生の島

沖縄平和賞の贈賞

沖縄と地理的・歴史に関わりの深いアジア太平洋地域の平和の構築・維持に貢献する活動を行っている個人・団体へ贈られます。

第9回は「NPO法人日本国際ボランティアセンター」へ贈賞しました。



第1回OIST学位授与式の様子(OIST提供)



第9回沖縄平和賞贈賞式

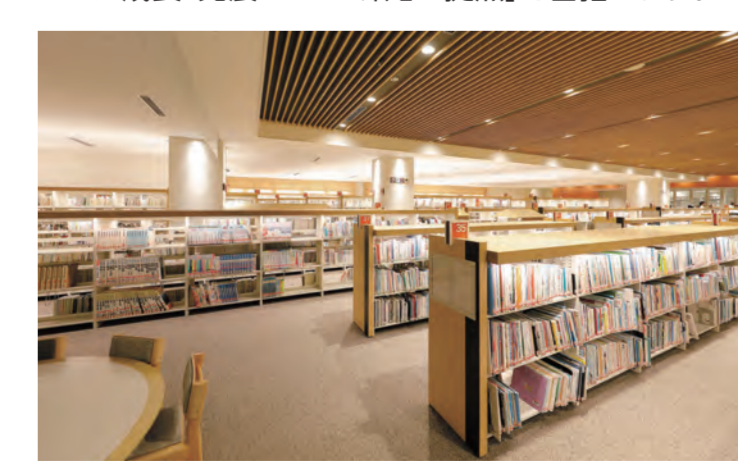
世界的に優れた研究・教育の実施

沖縄科学技術大学院大学(OIST)は、世界最高水準を目指し、生物学、海洋科学、遺伝学その他、幅広い分野で研究・教育を行い、世界50以上の国や地域から1,000名を超える研究者等が集まるなど、グローバルな学術交流を行っています。

5 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

新県立図書館の開館

平成30年12月に新県立図書館が開館しました。誰もが気軽に利用できる施設として県民に親しまれ、県民とともに成長・発展していく「知の拠点」を目指します。



新県立図書館内観

離島体験交流の推進

離島の重要性、特殊性及び魅力に対する認識を深めるとともに、離島地域の活性化を図るため、県内の児童を離島に派遣し、体験学習や民泊等を通して地域の人々との交流を推進しています。



サバニ体験学習の様子